

今できること プロジェクト

2017年度

賛同企業募集 企画書



歩みを続け、
理想をともに。



地域の可能性を見出し、
現在進行形の復興支援プロジェクト。



第10回全日本広告連盟
鈴木三郎助地域キャンペーン
大賞受賞

 河北新報社
平成29年8月

お申し込み・お問い合わせ

●河北新報社 営業局営業部

〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28
TEL 022-211-1318 FAX 022-227-0923

●河北新報社 東京支社営業部

〒105-0004 東京都港区新橋5-13-1 新橋菊栄ビル7F
TEL 03-6435-8401 FAX 03-6435-8406

●河北新報社 大阪支社営業部

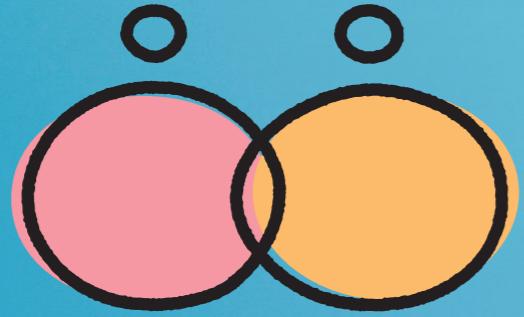
〒541-0041 大阪市中央区北浜2-1-23
TEL 06-6227-1051 FAX 06-6227-1060

●河北新報社 山形営業所

〒990-0025 山形市あこや町3-12-11
TEL 023-615-7228 FAX 023-622-7930

●河北新報社 大崎営業所

〒989-6162 大崎市古川駅前大通2-6-16
TEL 0229-22-7511 FAX 0229-22-9744



今できること プロジェクト

**真の復興を目指す人と地域を支える、
新聞社が考える、復興支援プロジェクト。**

月日を経るごとに、風化の一途をたどる東日本大震災の記憶。そんな状況の中で、「今、私たちにできることはなんだろう?」という問い合わせから、震災翌年にこのプロジェクトがスタートしました。これまでたくさんの読者や賛同企業の皆さんに参加・協力をいただきながら、幅広い活動を展開。多くの共感を集め、やがて大きな躍動の流れとなって復興の未来を果たすための原動力となっていると確信しています。

そして2017年度も、より活動のフィールドを広げていきながら、新たな試みに挑んでいきたいと考えております。そのためには、本プロジェクトの理念に賛同いただける企業の皆さまのご協力が必要不可欠です。地域の復興を目指す志をともに共有し、篤いご支援のほど何卒よろしくお願ひいたします。

{ 1年目(2012年度)の活動 }

小さな支援を積み重ねながら、ひとりでも多くの人に共感の和を広げ、少しでも多くのアクションにつなげていきたいと活動をスタート。県内沿岸部の被災地を巡る「被災地バスツアー」も、賛同企業参加を4回、一般読者向けを1回実施しました。



{ 2年目(2013年度)の活動 }

具体的なアクションを実行することを目標に、「情報発信型支援」「観光型支援」「ボランティア型支援」の3つの基本企画を計画しました。それぞれ、一般参加者を募ってバスツアーを開催。また、新たに「子ども未来応援教室」もスタートしました。



{ 3年目(2014年度)の活動 }

前年度に計画、実施した3つの活動と、子ども向けイベント「子ども未来応援教室」をより深化。新たな派生プロジェクトも誕生しました。女川町の商店をPRするポスターを制作し、地元の活性化につなげる「女川ポスター展」は、想定以上の反響を呼びました。



{ 4年目(2015年度)の活動 }

「ボランティア型支援」「子ども支援」「観光型支援」の3つの活動と、「子ども未来応援教室」開催を計画し、さまざまな紙面展開やバスツアーを実施。また、昨年に引き続き、他団体との連携による被災地支援・復興支援活動を展開する派生プロジェクトにも力を入れました。



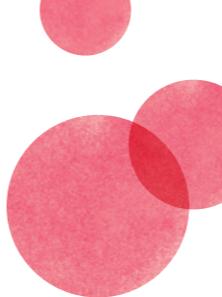
{ 5年目(2016年度)の活動 }

昨年度は、「地域の食を通じた観光支援」「熊本地震復興支援」「震災伝承次世代育成支援」の3つの活動と、「子ども未来応援教室」の開催を計画、実施。支援の方法を多角的に捉え、当事者の方々と継続的に取り組める活動を発足させました。女川町のキーパーソンと熊本地域商業リーダーの人的交流は、県域を超えた新たな可能性を発展させるきっかけとなり、大いに話題となりました。



＼＼1＼＼

南三陸町の観光支援



＼＼2＼＼

防災情報発信支援



ダボス会議(IDRC2016)



気仙沼・浪板虎舞



南三陸町の自然に親しむ新たな観光地をつくるお手伝いを。

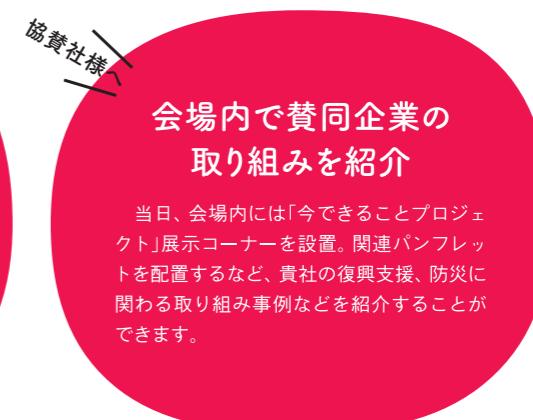
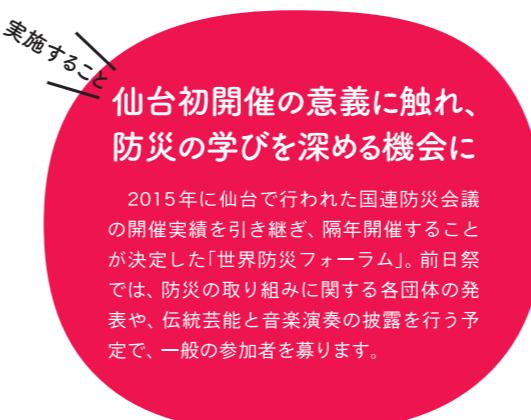
装い新たにオープンした「南三陸さんさん商店街」や「南三陸ハマーレ歌津」を中心に、ご当地ならではのグルメやイベントなど、観光の魅力を発信して話題の尽きない南三陸町。海と山両方の豊かな自然にも恵まれ、観光協会が独自に主催する体験型ツアー・プログラムも人気が高まっています。

南三陸ツーリズムの重要な拠点になると期待されているのが、志津川湾が一望できる小高い山に作っている「海の見える命の森」です。一般社団法人KOTネットワーク本吉が主管となり、町民有志とボランティアにより植樹や散策路の整備が進められています。本プロジェクトでは、森の公園づくりと震災伝承の活動に触れるバスツアーを開催します。地元の方による減災講話なども予定。南三陸町が一丸となって取り組んでいる復興観光事業について学びます。



企画展開スケジュール

- ⇒ 2017年10月上旬 ツアー募集スタート
- ⇒ 2017年10月下旬 参加者に連絡
- ⇒ 2017年11月上旬 一般参加者によるツアー実施
- ⇒ 2017年11月下旬 イベント採録紙面掲載



企画展開スケジュール

- ⇒ 2017年10月上旬 「前日祭」参加者募集スタート
- ⇒ 2017年11月25日 「前日祭」開催
- ⇒ 2018年1月 イベント採録紙面掲載

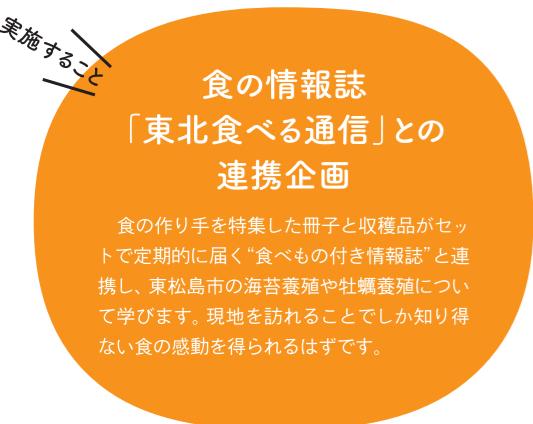
\\3// 地域に根ざした食文化支援



「海の通訳者」東松島の漁師と生産現場から学ぶツアー

津波や天候不良、さまざまな自然の脅威にさらされながらも自然に働きかけ、命を育む食べ物をもたらす一次生産者。そんな生産現場の“裏側”を知ると、農業や漁業に対する見方が大きく変わるはずです。

東日本大震災で大きな被害を受けながらも前向きに生産に取り組む東松島市の海苔養殖や牡蠣養殖の現場を訪れ、彼らの奮闘ぶりや生産現場体験を通して、一次産業を守る大切さ、食べることのありがたみ、地域の魅力を発信することと一緒に考える日帰りのバスツアーを開催します。東松島の漁師の声に耳を傾けながら、高い品質の海苔や牡蠣を食卓に届けたいという情熱に触れ、そのおいしさも実際に体感してもらいます。



企画展開スケジュール

- ⇒ 2018年1月下旬 ツアー募集スタート
- ⇒ 2018年2月中旬 参加者に連絡
- ⇒ 2018年3月下旬 一般参加者によるツアー実施
- ⇒ 2018年4月 イベント採録紙面掲載

\\4// 子ども未来応援教室

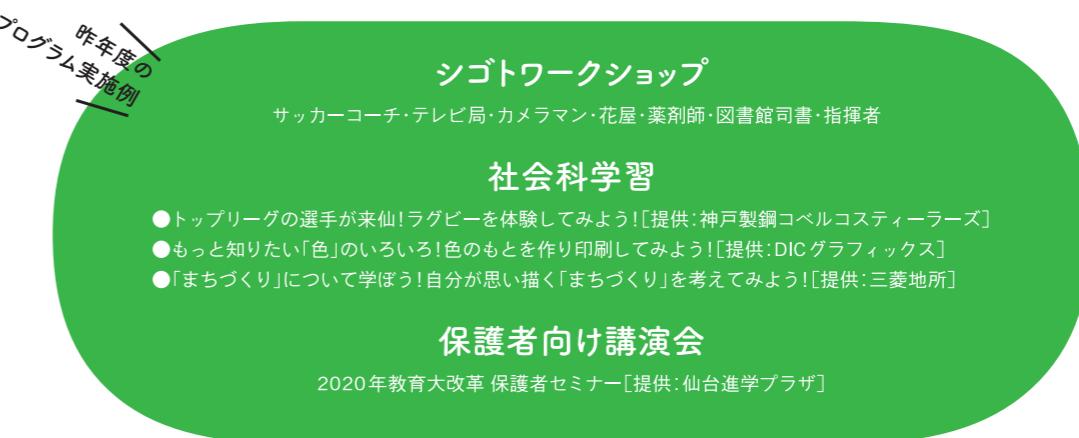


子どもたちが楽しんで学べる、シゴト体験プログラム。

地域の将来を担うこどもたちに、教育支援として面白い学習プログラムを提供する「子ども未来応援教室」。賛同企業による「社会科学習」、こどもたちの関心が高い仕事をプロの方が紹介する「シゴトワークショップ」など多彩なプログラムを用意します。また、前回大いに好評を得られた、保護者向けの特別セミナーも実施します。

子ども未来応援教室 開催概要

- 開催／2018年3月上旬予定 ●場所／尚絅学院大学
- 対象／小中学生向け(社会科学習・シゴトワークショップ)、保護者向け(特別セミナー)



企画展開スケジュール

- ⇒ 2018年2月 参加者募集スタート
- ⇒ 2018年3月上旬 子ども未来応援教室開催
- ⇒ 2018年4月 イベント採録紙面掲載

その他の紙面展開

このプロジェクトにご協力いただく賛同企業様のために、ツアーや一般参加者を募る募集告知紙面や活動の内容を伝える採録紙面のほか、さまざまな紙面展開をご用意しています。賛同企業様の社名やロゴの紙面掲載をはじめ、純広や記事体広告など、ご要望に合わせてご案内いたします。

スタート紙面

- 2017年10月1日予定
- 朝刊カラー全15段

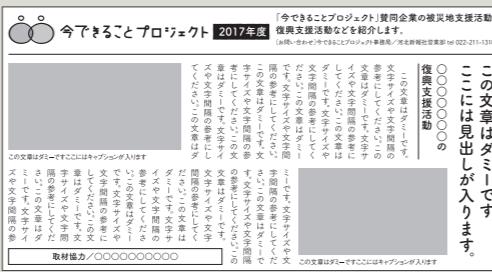
紙面に
賛同企業名
掲出

賛同企業フリースペース

●2017年10月～2018年3月まで1回掲載

- ①記事体広告タイプ…被災地支援活動の取材記事(朝刊モノクロ3段1/2)
※毎月下旬、賛同企業被災支援活動の取材記事として、複数社とりまとめて掲載します。ご希望の掲載月をご連絡ください。
- ②純広タイプ…朝刊カラー4段1/4相当 カット付きフリースペース
※ご希望の掲載日をご連絡いただいたうえ、調整いたします。

①記事体広告タイプ



被災地支援活動の取材記事(モノクロ3段1/2)

②純広タイプ



カット付き
フリースペース
(カラー4段1/4)

プロジェクト告知(4社連合)

- 2017年10月～2018年3月まで
- 朝刊カラー全1段

賛同企業
ロゴを月1回
掲出

私たちはこれからも東北の復興を応援していきます。

賛同企業ロゴ

賛同企業ロゴ

賛同企業ロゴ

賛同企業ロゴ

ホームページとSNS

今できることプロジェクトオフィシャルホームページ

<http://www.kahoku.co.jp/imadeki/>

新聞読者だけでなく 広く活動内容を発信

今できることプロジェクト特設webサイトで、新聞読者以外の方々にも取り組みを発信していきます。紙面と連動してサイト内に記事や動画を掲出するとともに、紙面を読んでの意見や感想、復興応援メッセージや現在取り組んでいる支援などを紹介。誰でも自由に参加できる広場になっています。



いいね！総数
2,268！

今できることプロジェクトFacebook

<https://www.facebook.com/imadeki/>

記事と連動しながら 賛同者と情報共有

今できることプロジェクト関連の情報や、復興に関わる朝刊記事のリンクを随時アップしています。また、独自に取材活動を行っている「今できライター」が、各地の取り組みやイベントなどの現況をレポートします。



協賛料金について

賛同企業メニュープランA

300,000円
(税込 324,000円)

- ①各回特集紙面に企業名表記
- ②毎月1回、朝刊カラー全1段で企業ロゴ掲載
- ③被災地支援活動を取材(または素材提供頂く)し、
朝刊記事体モノクロ3段1/2を1回掲載
※被災地支援活動以外の原稿を掲載希望の場合、朝刊カラー4段1/4相当を1回掲載
(別紙体裁見本ご参照願います)
- ④特設webサイト内で企業ロゴ掲載およびリンク設置
- ⑤海の見える命の森づくり日帰りバスツアー、世界防災フォーラム前日祭、
東松島食べる通信日帰りバスツアーの参加権利(人数はご相談ください)
- ⑥「子ども未来応援教室」にて配布する資料や看板への企業名表記

賛同企業メニュープランB

1,700,000円
(税込 1,836,000円)

- プランAの①～⑥は共通メニューです。
- ⑦朝刊カラー全5段のフリー掲載
(掲載期間／2017年8月～12月)
[プラス]世界防災フォーラム前日祭「今できることプロジェクト展示コーナー」での支援事例紹介
(紹介方法に関してはご相談の上決定いたします)

賛同企業メニュープランC

3,600,000円
(税込 3,888,000円)

- プランAの①～⑥は共通メニューです。
- ⑦朝刊カラー全15段のフリー掲載
(掲載期間／2017年8月～12月)
[プラス]世界防災フォーラム前日祭「今できることプロジェクト展示コーナー」での支援事例紹介
(紹介方法に関してはご相談の上決定いたします)

賛同企業向けオプションプラン

「子ども未来応援教室・社会科学習」への授業提供を
ご希望の賛同企業には以下のプランをご提供します。

- ①仙台市近郊で2018年3月上旬(予定)に開催する「今できることプロジェクト in こども未来応援教室」で1コマ
(約120分)の子ども向け授業を行えます。※授業内容についてはご相談の上決定
- ②「子ども未来応援教室」開催告知に企業ロゴ掲載(複数回掲載)
- ③「子ども未来応援教室」採録紙面にイベント内容を2段分相当でご紹介

$$\left(\begin{array}{c} \text{賛同企業メニュープラン} \\ \text{AまたはBまたはC} \end{array} \right) + 700,000\text{円} \text{ (税込756,000円)}$$

「子ども未来応援教室・保護者向け特別セミナー」への
冠協賛プラン(限定1社)

- ①午前中に保護者向けの特別セミナー(約100分)を実施します。※セミナー内容、講師の人選についてはご相談の
上決定
- ②「子ども未来応援教室」開催告知に企業ロゴ掲載(複数回掲載)
- ③「子ども未来応援教室」採録紙面にセミナー内容を2段分相当でご紹介

$$\left(\begin{array}{c} \text{賛同企業メニュープラン} \\ \text{AまたはBまたはC} \end{array} \right) + 700,000\text{円} \text{ (税込756,000円)}$$

その他、賛同企業様、自治体と共に復興支援プロジェクトを実施しております。何かご相談がございましたらプロジェクト事務局へお問い合わせください。

お申し込み締切 2017年9月15日(金)